

隊友 船橋だより

平成25年7月号

発行：千葉県隊友会 船橋支部事務局

第12次派遣海賊対処航空隊任務遂行帰還

6月7（金曜日）15時、習志野駐屯地で約4ヶ月の任務を無事終え帰国した派遣隊員を駐屯地の隊員はじめ、派遣隊員の家族、隊友会、空挺同志会、自衛隊協力会来賓が歓声と拍手で出迎えた。派遣隊員はその中を日焼けし凛々しい姿で隊伍を組んで正門から本部前までを行進し、副団長に帰還報告した。

6月22日（土曜日）午前10時から同駐屯地幹部食堂において「慰労会」が開催された。千葉県隊友会会長代理柚木習志野支るすでの部長が、船橋支部から、門脇茂副支部長、築山正高根分会長、木村義忠二和・咲が丘分会長、羽田行雄大穴分会長、岡本事務局長が、出席した。前田団長は「労をねぎらいと共に、家族の協力で感謝され、今後の派遣業務の参考にできるように」との、訓示があった。その後、派遣隊員から現地での苦労話やエピソードが紹介され、笑い話となり会場を笑いの渦と沸かせた。約2時間の会もあつという間に過ぎて閉会した。



船橋支部総会

8月31日（土）11時から12時、以後、12時から14時まで懇親会（春の叙勲祝賀兼て）懇親会費三千元（当日徴収）を習志野駐屯地隊員クラブで開催します。

出席される会員は、同封の葉書に必要事項を記入し50円切手を貼って8月17日までに投函してください。

暑中お見舞い申し上げます。

支部長森良雄以下役員一同

物故者紹介

後藤義朗氏 船橋市海神2-1-1パークサイド船橋221

平成25年4月に逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

尚、8月6日「顕彰状」を、中西孝男海神分会長よりお届けいたしました。

「嗚呼、海軍七勇殉職の跡碑」周辺草刈り

清掃、慰霊の奉仕」

隊友会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。船橋支部（北部地区主体）は、平成22年度から恒例となった「船橋市大穴北8-33」にあります「嗚呼海軍七勇殉職の跡碑」の周辺草刈りを今年も平成25年6月30日（日）に行いました。参加者は分会別に坪井・松が丘分会2名、大穴分会4名、二和・咲が丘分会3名、高根分会1名、飯山満・二宮分会1名の計11名でした。参加者の内、佐藤正雄氏は昭和4年8月生まれで、昭和19年5月に海軍入隊、川村福一氏も昭和5年3月生まれで昭和19年6月に海軍に入隊の海軍OBです。作業開始前に持参の冷えたビールを石碑の天辺から差し上げ、地下に眠る先輩たちは没後から70年振りに喉を潤された事と思います。作業は坪井・松が丘分会員の操作する原付草刈り機を先頭に、他の会員は持参した草刈り鎌で午前9時から繁茂した草や竹藪を刈り取り約2時間後の11時に終了、終了後は佐藤正雄氏の先導により「般若心経」を唱え、全員で供養しました。

その後、慰霊碑を背景に記念撮影し車座となって幹事が用意してくれた冷えた飲料水や茶菓子を頂きながら昭和18年春には木更津航空隊から南方の航空基地に進出予定だった七勇が、前年の昭和17年11月に木更津航空隊からの訓練飛行中天候が急変し雷電と豪雨の中、11月27日午前4時過ぎにこの地に墜落し全員が死亡された当時を偲びました。搭乗員の大半が10代後半の若き海軍兵の皆さんはどんな気持ちで戦争に臨んでいたのだろうか？。見違えるように綺麗になった殉難の跡碑を眺めながら次回の草刈り奉仕作業は命日の11月27日（水）と決定し再開を約して解散しました。（木村義忠）

